



株主通信

第95期

(2020年4月1日～2021年3月31日)



JANOME
100
 YEARS
 since 1921

蛇の目ミシン工業株式会社
 証券コード：6445

当社は2021年10月16日に創業**100**周年を迎えます

株主のみなさまへ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第95期(2020年4月1日から2021年3月31日まで)の事業の概況についてご報告申し上げます。

当期におきましては、新型コロナウイルスの世界的大流行により、内外経済に深刻な影響を及ぼすなど、厳しい状況が続く中、ワクチン接種が進む先進国や、経済活動をいち早く再開させた中国など、一部で持ち直しの動きも見られました。しかしながら、欧州では感染再拡大により、再び経済活動を抑制する動きとなるなど、感染状況に左右される面も大きく、不安定な状況に終始しました。また、国内においては、当期中、2度にわたり緊急事態宣言が発出され、感染拡大と減少を繰り返すなど、不安定な経済状況が続きました。一方で、海外経済の改善とともに、製造業を中心に緩やかな回復傾向にあるものの、ワクチン接種の遅れや変異株の感染拡大など、懸念材料も多くあり、依然として予断を許さない状況となりました。

このような中、当社グループにおきましては、巣ごもり消費をきっかけとしたミシンの需要増加に対応すべく、生産体制の強化に継続的に取り組みました。また、従業員の安全確保のため、引き続き徹底した感染対策を講じ、安定した事業の継続に注力いたしました。

この結果、当社グループの**当期の売上高は43,839百万円(前期比8,318百万円増)、営業利益は4,931百万円(前期比3,773百万円増)、経常利益は5,032百万円(前期比3,982百万円増)、親会社株主に帰属する当期純利益は3,945百万円(前期比3,521百万円増)**となりました。

当社グループは、今後ともみなさまからいただいた信頼を糧に、長期的ビジョンに立った持続的成長を図りつつ、収益力の高いグローバル企業を目指し、継続的な企業価値向上に向け努力してまいりますので、株主のみなさまにおかれましては、変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



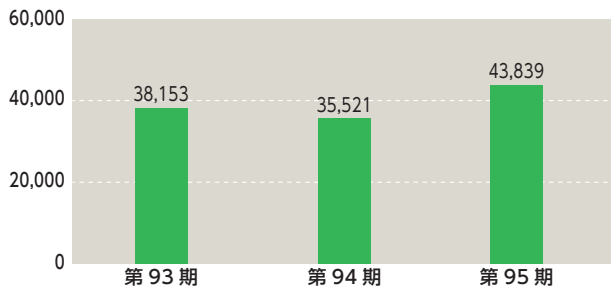
代表取締役社長 齋藤 真

目 次

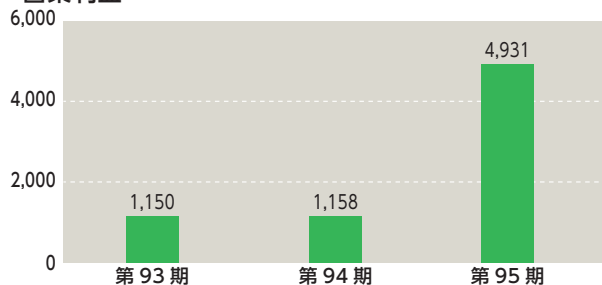
- P. 1 株主のみなさまへ
- P. 2 連結決算ハイライト
- P. 3 セグメント別概況
- P. 5 連結財務諸表(要旨)
- P. 6 会社概要 他

連結決算ハイライト

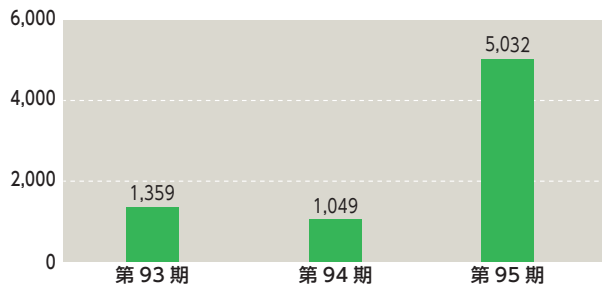
●売上高 (単位: 百万円)



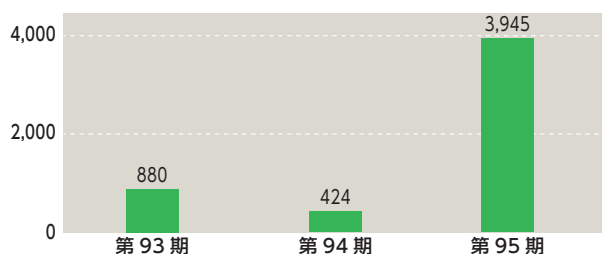
●営業利益 (単位: 百万円)



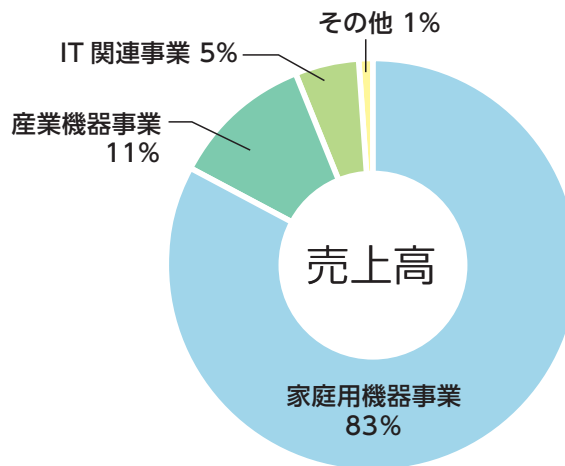
●経常利益 (単位: 百万円)



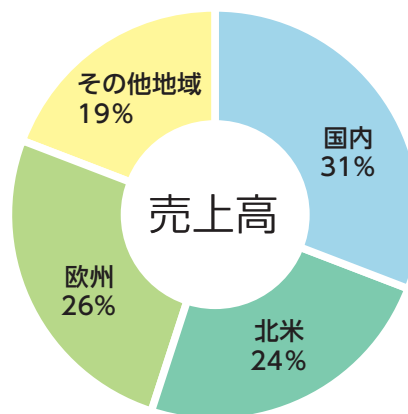
●親会社株主に帰属する当期純利益 (単位: 百万円)



●売上構成比



●売上高地域別内訳



※詳細につきましては、当社ウェブサイトをご覧ください。
<https://www.janome.co.jp/ir/index.html>

家庭用機器事業 (ミシン等の家庭用機器の製造・販売)

家庭用機器事業におきましては、手作りマスクや巣ごもり消費をきっかけとしたミシン需要が高い水準を維持し、国内外で販売は好調に推移いたしました。重要市場である北米・欧州では、ネット通販を中心にエントリーモデルの販売が引き続き好調に推移いたしました。また、中・高価格帯の高付加価値製品の販売も伸長し、幅広い層に需要が広がりました。その他の市場においても販売を伸ばしました。

国内市場においては、当社創業100周年記念モデル「エポルク」、「ハイパークラフト850」、人気キャラクターとコラボした「セシオ9720P」を相次いで発売するなど、市場の活性化に努めました。さらにはSNSやメディアを通じた情報発信、ワークショップの開講など、さまざまな形でお客様と積極的なコミュニケーションを図り、需要喚起に注力したことで販売台数の増加に繋がりました。

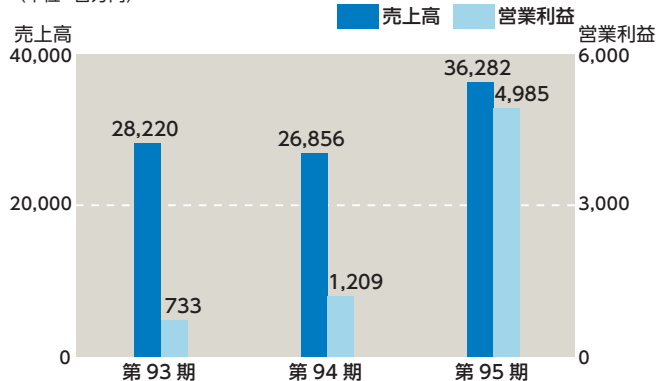
この結果、海外・国内ミシンの販売台数は184万台(前期比50万台増)、家庭用機器事業全体の売上高は36,282百万円(前期比9,426百万円増)、営業利益は4,985百万円(前期比3,775百万円増)となりました。



エポルク (CLASSIC RED)

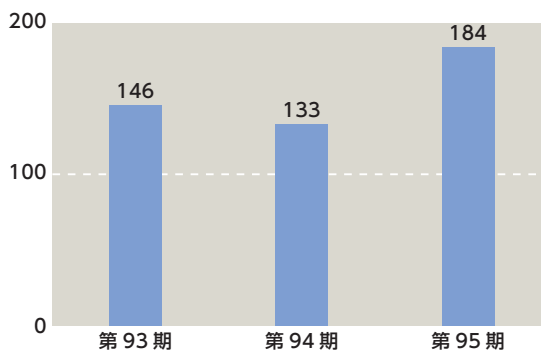
売上高・営業利益

(単位:百万円)



ミシン販売台数推移

(単位:万台)



産業機器事業 (卓上ロボット・サーボプレス・ダイカスト鋳造品等の産業機器の製造・販売)

産業機器事業におきましては、お客様のニーズに応えた新製品を投入し、ラインアップの充実を図るとともに、自動車関連企業を中心に製品の入れ替え需要が見込まれる中、積極的な営業活動を続けてまいりました。また、感染対策を意識し、オンラインでの展示会や面談等を随時実施し、サポート体制の強化を図るとともに販売台数の確保に努めました。

しかしながら、新型コロナウイルスの影響による企業の設備投資抑制の傾向は根強く、各種施策も足踏み状態が続く現状を開拓するには至らず、卓上ロボット・サーボプレスの販売は苦戦が続きました。他方で、ダイカスト鋳造関連事業においては、当社ミシン部品の受注が好調に推移し、グループ全体の利益に寄与いたしました。

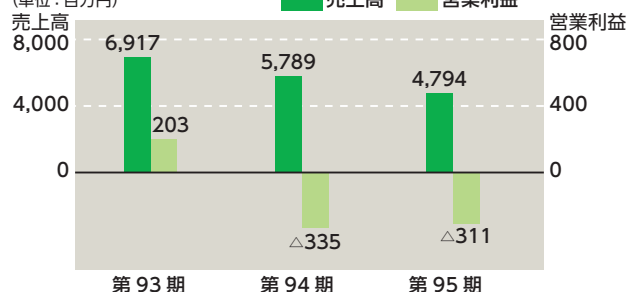
この結果、**産業機器事業全体の売上高は4,794百万円(前期比994百万円減)、営業損失は311百万円(前期は335百万円の営業損失)**となりました。



サーボプレス「JPシリーズ 5」
両手押しスイッチ仕様

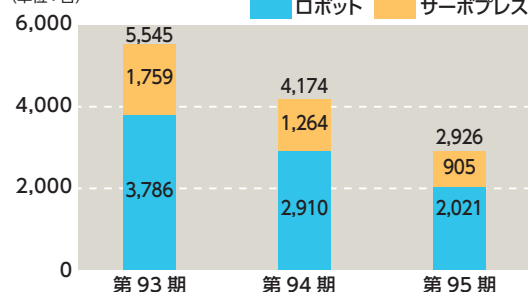
売上高・営業利益

(単位：百万円)



ロボット・サーボプレス販売台数推移

(単位：台)



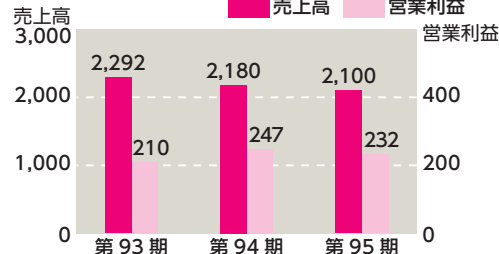
IT関連事業

(ITソフトウェア開発・情報処理サービス・システム運用管理の受託)

システムインテグレーションやアウトソーシング、ソフトウェア製品の提案・販売・導入支援等を行うIT関連事業の売上高は2,100百万円(前期比80百万円減)、営業利益は232百万円(前期比15百万円減)となりました。

売上高・営業利益

(単位：百万円)



連結財務諸表（要旨）

連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

区 分	当 期	前 期
	2021年3月31日	2020年3月31日
資産の部		
流動資産	27,016	22,078
固定資産	26,658	27,281
① 資産合計	53,674	49,360
負債の部		
流動負債	15,197	15,559
固定負債	8,159	8,419
② 負債合計	23,357	23,979
純資産の部		
株主資本	22,658	19,015
その他の包括利益累計額	6,700	5,534
非支配株主持分	957	831
③ 純資産合計	30,316	25,381
負債純資産合計	53,674	49,360

POINT

①資産の部

流動資産は、現金及び預金の増加等により、前期に比べ4,937百万円増加いたしました。
固定資産は、有形及び無形固定資産の減価償却、土地の減少等により、前期に比べ623百万円減少いたしました。

②負債の部

短期借入金の減少等により、前期に比べ621百万円減少いたしました。

③純資産の部

利益剰余金の増加等により、前期に比べ4,935百万円増加いたしました。

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

区 分	当 期	前 期
	2020年4月 1日から 2021年3月31日まで	2019年4月 1日から 2020年3月31日まで
売上高	43,839	35,521
売上原価	25,345	21,249
売上総利益	18,494	14,272
販売費及び一般管理費	13,563	13,114
営業利益	4,931	1,158
営業外収益	224	211
営業外費用	123	320
経常利益	5,032	1,049
特別利益	88	4
特別損失	182	131
税金等調整前当期純利益	4,937	922
法人税等	865	460
非支配株主に帰属する当期純利益	126	37
親会社株主に帰属する当期純利益	3,945	424

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

区 分	当 期
	2020年4月1日から2021年3月31日まで
④ 営業活動によるキャッシュ・フロー	6,475
⑤ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△648
⑥ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,161
現金及び現金同等物の当期末残高	9,985

④営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益の計上、減価償却費の計上等により6,475百万円の資金の増加となりました。

⑤投資活動によるキャッシュ・フロー

定期預金の預入による支出1,017百万円、製造子会社の機械設備や新機種に係る金型等の有形固定資産取得による支出439百万円等により、648百万円の資金の減少となりました。

⑥財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の純増減額の減少、配当金の支払等により、3,161百万円の資金の減少となりました。

商号の変更に関するお知らせ

当社は、2021年10月に迎える創業100周年をひとつの機会と捉え、「新生ジャノメ」に向けた新たな一歩を踏み出すため、下記のとおり商号を変更することといたしました。

【新商号(英文表記)】 株式会社ジャノメ (JANOME Corporation)

【変更日】 2021年10月1日

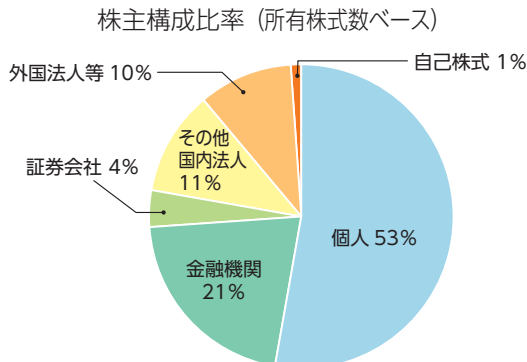
詳しくは、当社ウェブサイト内ニュースリリース「商号の変更に関するお知らせ」(<https://www.janome.co.jp/ir/news/news299.pdf>)をご覧ください。

●会社概要 (2021年3月31日現在)

商号	蛇の目ミシン工業株式会社
英語表記	JANOME SEWING MACHINE CO., LTD.
本社	東京都八王子市狭間町 1463 番地
創業	1921 (大正10) 年 10 月
設立	1950 (昭和25) 年 6 月
資本金	113 億 7,300 万円
連結従業員数	3,445 名

●株式の状況 (2021年3月31日現在)

発行済株式総数	19,521,444 株
株主数	13,713 名 (前期末比 1,524 名増)



●役員 (2021年6月25日現在)

代表取締役社長 C E O	齋藤 真	取締役常勤監査等委員	先槻 光弘
取締役専務執行役員	高安 俊也	取締役監査等委員	中澤 真二
取締役専務執行役員	土井 仁	取締役監査等委員	田中 敬三
取締役専務執行役員	川口 一志	取締役監査等委員	栗岩 恭
取締役	中島 文明		

●執行役員 (2021年6月25日現在)

常務執行役員	保坂 幸夫	執行役員	石川 哲
常務執行役員	關 伸一郎	執行役員	小林 裕幸
常務執行役員	木下 浩昭	執行役員	岩間 英紀
常務執行役員	大島 毅之	執行役員	山本 慎一郎
常務執行役員	雨宮 章雄	執行役員	舌間 聖一郎
執行役員	黒田 浩一	執行役員	角田 伸二

● 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人 及び特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL: 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公告の方法	電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載のURL	https://www.janome.co.jp/

株式のお手続き等についてのご注意

1. 住所変更等、弊社株式に関するお手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）にお問い合わせください。
2. 特別口座の株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、上記連絡先にお問い合わせください。



表紙：当社歴代のミシン

- ◆①パイン500種53型（1921年）
- ◆②HA-1 102型（1948年）
- ◆③560型（1961年）
- ◆④5001型 メモリア（1979年）
- ◆⑤8100型 セシオ（1991年）
- ◆⑥メモリークラフト7700-HORIZON（2010年）
- ◆⑦セシオ14000（2015年）
- ◆⑧Continental M7 Professional（海外専売モデル）（2019年）
- ◆⑨Anniversaryハイパークラフト850（2020年）

「100周年記念サイト」(<https://www.janome.co.jp/100th/>)の歴史ページでも当社製品について詳しくご紹介しています。ぜひご覧ください。

蛇の目ミシン工業株式会社

〒193-0941 東京都八王子市狭間町1463番地 TEL: 042 (661) 3071

UD
FONT

VEGETABLE
OIL INK